

Artfull うちうら

[発行]
内浦公民館
〒919-2351
高浜町山中 104-4-2
TEL.0770-76-2007
FAX.0770-76-2008
E-mail
uchiura_c.c@town.takahama.lg.jp

内浦公民館講座

～香りで五感を開く

季節のスキンケアクリーム作りを開催



素敵な香りで
しっとり
完成です！

令和7年1月18日(土)

内浦公民館2階調理実習室で開催しました。講師はアロマテラピスト・植物療法士の一瀬ひろみさん(音海区)です。

今回は4種類のハーブオイルと10種類の精油を用意されました。一瀬ひろみさんから、ハーブと精油の説明を聞き、各自が必要としている効能にあうオイルと精油を使って、クリームを作りました。部屋の中はとってもいい香りで満たされて、会話も弾み楽しみながら時間を過ごされていました。



内浦の仏像についての講座開催しました！

●第1講 音海～神野浦編 令和7年1月25日(土)

●第2講 山中～上瀬編 令和7年2月 8日(土)



講師は、福井県立若狭歴史博物館 主任河村健史さん。内浦地区を2回に分けて講座を開催しました。初めに集落の宗教施設(神社・寺・お堂)について説明の後、各区にある仏像の写真から読み取れる事を教えていただきました。仏像の種類の見方としては、手の形、持っている物等で見分ける方法がある事を説明いただき、袈裟のしわの入り方や表情等の特徴を見ると作られた年代が分かる事も教わりました。仏像の見方が変わったのではないのでしょうか。

● 開館時間 午前8時30分～午後10時

● 利用時間 午前9時～午後9時30分 夜間利用が無い場合は午後5時で閉館いたします。

<3月の休館日> 3日(月)・10日(月)・16日(日)・17日(月)・24日(月)

【高浜町連合遺族会 次世代の会】会長 浅田隆さん(神野区)から『神野区におられる戦争を体験した方々から戦中戦後の暮らしの話を聞いて若い世代に語り継ぐ機会を企画する』と聞きサロンを行っている15日に、開催場所の神野区ふれあい会館へ行きました。毎月サロンに来られている方はスクリーン等がセッティングされ、いつもと違う和室内に驚かれていましたよ。この日は内浦中学校1年生の皆さんとおおい町遺族の会の皆さんも参加され和室いっぱいになりました。

初めに、浅田隆さんと西本恵子さん(上瀬区)が紙芝居(みんなで学ぶ戦中・戦後の暮らし)を読まれました。紙芝居の内容は、家の外に灯りが漏れないように電灯に黒い布をかけ食事をする所から始まり、召集令状(赤紙)、空襲、学校での様子、防空壕に入っている様子など当時の生活が分かり易く語られました。多くの命が奪われた戦争。もう二度と戦争をしてはいけない。

紙芝居は「戦争のない世界をみんなで考えよう!」で終わりました。



紙芝居が終わると、神野区の皆さんの間に中学生の皆さんが座り当時の話を聞く交流の場が設けられました。戦時中の食事の事や、学校での様子そして友達とのエピソードも聞く事が出来ました。

神野小学校の裏に防空壕が2つあり、校長先生の指示で、防空頭巾(家で手作り)をかぶり、男女別々に防空壕に非難した事。田畑の仕事が忙しい時期は学校を休んで家の手伝いをした事。戦争に行く兵隊さんを見送った時は、難波江の浜まで皆で歩き、脇坂の方へ歩いていく兵隊さんの姿が見えなくなるまで手を振った事。終戦後は、進駐軍が車に乗って来ていたし、B29 が飛んできた時機内に6人乗っていた事も忘れられない光景だったとの事でした。当時のご苦労等貴重なお話を聞く機会になりました。



皆さん、貴重なお話ありがとうございました！
お疲れ様でした！



館長の《こーひーぶれいく》No.118



今回は 今村翔吾 著 「幸村を討て」です。

大坂の陣」…天下をほぼ手中に収めた徳川家康が総仕上げとして大阪城を攻め、豊臣家を滅ぼした「最後の大会戦」。「冬の陣」において大阪城の南方に「真田丸」という出城を築き、徳川軍を撃退し、その名を轟かせ、「夏の陣」においては、家康の本陣に突入し、あと一步のところまで家康の首を取るところまでいった「日の本一の兵(つわもの)」と語りつがれる「真田幸村」。

彼は、徳川軍を二度にわたって撃退したことで知られる智将・真田昌幸の次男「真田信繁」であるが「幸村」の名前が広まったのは、彼の死後 60 年近く後に創作された講談や軍記物語である。(信繁が生前「幸村」の名前を用いたという確たる資料は存在しない)。著者はあえて「幸村」の名を大坂の陣から名乗らせることによって、新たな幸村像と兄の信之との絆を描き出している。

本作は 7 編からなり、それぞれの主人公は、徳川家康、織田有楽斎、南条元忠、後藤又兵衛、伊達政宗、毛利勝永、そして幸村の実兄でありながら徳川方についた真田信之。それぞれの思惑は何だったのか。それぞれが発する「幸村を討て」との言葉は何を意味するのか。

織田有楽斎(長益)…信長の弟、戦を好みぬ文人肌であるが、徳川方と内通しつつも豊臣方の総大将に祭り上げられ、やがて城を抜け出す。

南条元忠… 元大名、関ヶ原で西軍に付いたため浪人となった。徳川への内通を疑われ、無念のうちに切腹させられる。

後藤又兵衛… 己の腕ひとつで歴戦において名を挙げてきた。死に場所を求めこの大阪城に来た。多くの手柄をたて、歴史に名を残すことだけを目的としている。

伊達政宗… 10 年早く生まれていれば天下人となれたと云われる東北の雄。(亡き秀吉の遺言を破り、政宗の長女は家康の 6 男と婚約した。) 天下を取ることを諦めたのか、徳川の配下に付き幸村と対峙するが、幸村と内通している。幸村と同じくする目的は何なのか。

毛利勝永… 幼いころの淀君(茶々)のお守役であった、関ヶ原で西軍に付いたため、改易・浪人となり、旧知の山内一豊に預けられる。茶々への密かなる思いを胸に大阪城に駆けつける。

真田信之… 幸村の兄。関ヶ原の戦いで徳川方に付き、家康の家老・本多忠勝の長女(小松姫…家康の養女となった後、信之に嫁ぐ)を娶っている。江戸に居ながらも忍を使い幸村と連絡を取り合っている。

大阪城に集まった 10 万の浪人たちの思いはさまざま、豊臣方の敗北は予見しながらも、武士として最後の死に場所を求めてきた者。この戦いで名を挙げ、仕官を求める者。再び豊臣の天下になることに一縷の夢を託す者。

幸村は家康にとどめを刺すことなく、突如撤退し郎党と共に自刃する。なぜ彼は、家康の命を奪わなかったのか？彼の本当の目的は何だったのか？

すべての戦いが終わったのち、家康はその腹心である本多正信と共に、その「謎」を解明すべく、関係者たちの尋問をはじめ、徹底的な調査により、やがてある「結論」に辿りつく。

そのすべては、江戸に滞在していた兄・信之が仕組んだことではなかったのか。家康と正信は調べ上げた事実をひとつひとつ挙げながら、信之を尋問し追い込んでいく。信之は一つ対応を間違えれば、改易か切腹も免れない。その緊張感のやり取りはミステリーを解明する法廷劇のようだ。そして「幸村を討て!」という最後の家康の叫びは何を意味したのか。



家を残すために、兄は徳川方に弟は豊臣に与した真田家。著者が涙しながら描いたという最終章、兄弟がめざしたものは何だったのか。

内浦保育所母の会行事にお邪魔しました

令和7年2月5日(水)

前日からの雪で、あたりは一面銀世界。

ハウスの前で集合写真を撮ったのは、
内浦保育所の子供達と家族の皆さん。

《いちご狩り》をして大満足の写真です。



鎌倉区『パピィフルーツパーク』の馬場園長からいちごの採り方を教わった子供達は、長いハウスの中を自由に見て回り、大きないちごをほおぼっていました。いちご狩りの後、保育所に戻ってから、いちごサンドを作ったそうです。



これからの内浦公民館講座のお知らせ

ヨガ教室 <3回シリーズ>

講師：アブリットサンマイル(Rinaさん)

【開催日】：令和7年3月2日(日)・3月9日(日)・3月22日(土)

【時 間】：15:00~16:00

【場 所】：内浦公民館 2階多目的ホール

【準備物】：タオル・水分補給用飲み物・動きやすい服装

【定 員】：10名



【からだを整える季節の雑穀料理(春・もちあわ)

講師：山崎慶子さん(マクロビオティック食事アドバイザー)

【開催日】：令和7年3月23日(日)

【時 間】：13:30~15:00

【場 所】：内浦公民館 2階調理実習室

【参加費】：500円(材料費)

【定 員】：8名

【内容】

春の体を整えるお話
もちあわを使った料理



*身体に大切な食事について楽しく学びましょう！

■ 1 元気あっぷ生き活き倶楽部

【次の開催日】 2月 18日(火) 13:30~15:00 【会場】 内浦公民館 2階 多目的ホール

■ らくらく運動教室

【次の開催日】 2月 25日(火) 13:30~14:30 【会場】 内浦公民館 2階 多目的ホール